

## 16番 繁昌 誠吾 議員

## 1 教育行政について

## (1) 泳げない子どもの増加について

毎年、夏になると子どもたちの水難事故が報道されている。近年、子どもたちのスポーツ離れが顕著で、水泳に限らず様々な競技人口が不足しているとの声を耳にする。そのような中、泳げない小学生が増えている実感があり、保護者からは水泳の授業に対して不安・不満の声が届いている。体育の授業としての水泳の在り方はこれまでと何が違うのか、現状の課題と今後の対応策を示されたい。

## 2 公共施設について

## (1) 公共施設等総合管理計画について

令和4年3月に鹿屋市公共施設等総合管理計画が改訂され、今後40年間で1,646.3億円の更新費用がかかる見込みとなっている。目標数値として10年間で146億円の更新費用がかかるとなっているが、施設の在り方については明確になっていない。総合支所を含めて老朽化した建築物が多数ある中、更新・改修・廃止等、施設ごとの一定の方向性を示すべきと考えるが、見解を示されたい。

## 3 ごみ問題について

## (1) 町内会加入率の低下について

現在、町内会会員の退会が増加し、町内会の存続を危ぶむ声や運営の難しさを訴える声が届いている。町内会加入率の低下の要因としてごみ問題があると思うが、市長はごみ問題による町内会加入率の低下をどのように受け止めているか認識を示されたい。

また、今後の対応策を示されたい。

## (2) ごみ集積所の管理について

市長は令和4年12月定例会において、「現状をしっかりと分析して、町内会や衛自連等々と連携して、具体的な対応について検討していく」と答弁している。今後のごみ集積所の在り方を具体的に示されたい。

また、実態調査の有無及び内容・検討の状況を示されたい。